

第7号 『アナホリツシユ國文學』 目次

平成26年／2014年8月季刊

新雑誌が、それぞれ自分の「清らかな水場」で深々と飲み干す読み手と書き手が得られるよう祈念しています。

ヒーニー

フォトエッセイ 「日本の風景」 5

西野 鷹志

特集 **日記の力**

鳥尾敏雄 「死の棘 日記」

小栗 康平

4

辛抱の神が宿る日記

— 南方熊楠の日記管見

田村 義也

7

熊楠ワールド

「越えれば越えるほど険し」い山のような人生

李 美淑

20

— 朝鮮時代両班家女性の日記、「閨恨録」—

詩の日めくり

田中 宏輔

30

二〇一四年六月一日から三十一日までのすべての日付の日記

Sophie Mayer の David's First Drafts : Jonathan の翻訳を含む

方法論としての日録

阿部 嘉昭

50

—岡井隆のメトニミー原理について

「秋山駿」と「石」と「ノート」の哲学

山崎行太郎

62

—「生」の曰ばかり

歴史的時間としての日記—中野重治

林 淑 美

70

伊藤整 『太平洋戦争日記』 を読む

野坂 幸弘

80

—不安の底の〈生命〉

舞師 エリーゼ・ヴィーゲルト

鷗外 「独逸日記」の謎 林尚孝氏に聞く「インタビュー」

安宅 夏夫

88

漱石の美術への関心

— THE STUDIO の剝ぎ取られた絵

連載

近代文学のトポス「5」

— 「トポスⅡ場」を通して表出された漱石・荷風文学の心的世界 —

仁平
道明

Ten
2020

末延
芳晴

108

98

コラム 「末期の眼」 神谷 忠孝

130

学界時評／全時代

上代／高松 寿夫

132

近世／大高 洋司

138

中古／小嶋菜温子

134

近代／川口 隆行

140

中世／佐倉 由泰

136

国語／小野 正弘

142

第8号 予告

151

表紙作品「夜の祭」、表紙裏、大扉、目次作品・阿部典英／表紙、目次、扉デザイン・北森かん